

1月17日(土) 新年会 すてきな音楽で幕開け

♪ 多彩な音色で魅了

若林俊介さん(110期)

トランペット演奏



関東同窓会では1月17日(土)、東京都千代田区一ツ橋の日本教育会館・喜山倶楽部で新年会を開きます。今回のアトラクションは110期の若林俊介さんのトランペット演奏です。伴奏は奥様の原日向子さん(武蔵野音楽大学出身)がハープを奏でます。その後の懇親会は立食形式を予定しています。若林さんはトランペットについて「歴史は古く、軍隊などでは命令を伝える信号ラッパとして始まり、教会では讃美歌と共に演奏されましたが、演奏できるのはごく限られた立場の人だけでした。しかし現在の形が完成したことで、ここ200年の間にオーケストラや吹奏楽、ジャズなどにおいて欠かせない存在として、多くの人に親しまれるようになりました。そんなトランペットの一番の魅力はその音色の多彩さです。大きなバンドを牽引していく力強さはもちろん、

繊細で美しいメロディーを紡ぐこともできる。奏者の想いを代弁してくれる素晴らしい楽器です」と話しています。

また、新年会で演奏することについて「この度は貴重な機会をいただき本当にありがとうございます。実は上田のサントミューゼで演奏する機会があり、地元の同窓生の方々とたくさんお会いすることができました。音楽が繋いでくれる縁はすてきなものだとしみじみ思いますし、大切にしながら演奏に臨みたいと思っています。皆さんとお会いできることを楽しみにしております」と意気込んでいます。

新年のひととき、同窓の皆さんと音楽を楽しみ、おいに語り合いましょう。

【プロフィール】

- 1 高校卒業年 2012年
- 2 卒業大学 武蔵野音楽大学、洗足学園音楽大学院
- 3 出身地 上田市
- 4 出身中学 上田市立第三中学校
- 5 高校時代所属班 吹奏楽
- 6 演奏する楽器との出会いから現在 小学4年生の時に上田北小学校の吹奏楽部でトランペットを始め、各中学高校で吹奏楽を続ける。現在は陸上自衛隊中央音楽隊に所属。トランペットを佛坂咲千生、長谷川智之の両氏に師事する。

2026年 新年会

- 【日時】 2026年1月17日(土)
14:45 受け付け開始
15:00~18:00 演奏会、懇親会
- 【会場】 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2
日本教育会館 9階 喜山倶楽部
- 【会費】 7,000円 (102期以降は4,000円)、学生無料
- 【交通】 地下鉄三田線・新宿線・半蔵門線
神保町駅 A1・A8 出口 徒歩3分、
地下鉄東西線竹橋駅 1b 出口 徒歩4分



※執行部が撮影した写真は同窓会のホームページ、会報に使用します。

年会費の納付をお願いします

幹事長 金井一正 (76期)

会報111号をお届けします。今号も多彩なコンテンツを集めましたのでどうぞお楽しみください。

この会報発行を含め関東同窓会の活動は会員皆様からの年会費で支えられています。会報発行は特に支出が大きいのですが製本、印刷費の上昇はもちろんのこと、昨年来の郵便料金の値上げは会の支出増に大きく響いており運営を大きく圧迫しています。この支出増の一方で皆様からの年会費収入はまだまだ少なく執行部としては健全収支の為に年会費未納付の皆様からの納付、及び寄付を切にお願いする次第です。

なお、昨年の会報109号で年会費長期末納の方への会報送付停止検討の旨をお知らせしましたが、今号から残念ながら一部の方への停止を実施しております。

会員の皆様には会運営の実情へのご理解と温かいご支援を賜りたくよろしくお願いいたします。

会費納付は同封の振込用紙で郵便局でのお振り込みが可能です。また銀行振り込みとホームページからのクレジットカード払いも可能ですので皆様のご都合に合わせてお選びください。



より魅力ある同窓会組織の永続に向けて 関東同窓会会長 矢島基美 (72期)



矢島会長

新年あけましておめでとうございませう。皆様それぞれに、希望と期待をもつて佳き年をお迎えのことと拝察申し上げます。

私ども関東同窓会においては、年初早々、恒例の新年会が開催されます。その内容については本号の記事で紹介されているところですが、会員が一堂に会することのできる貴重な機会ですので、皆様奮ってご参加いただけると何よりも幸いです。

り、定年年齢を超える雇用延長を図ったりしようとするとき、それなりに説得的な論拠の一つとしてもち出される慣用句です。

なるほど、どのような組織や団体にあっても、群を抜くほどの知見や能力の持ち主が必ずといってよいほど存在します。そうした持ち主に引き続き重責を担ってほしい、あるいは、そのまま職務に従事してもらえるのであればそれほど好ましいことではない、そう考えたくなるのはよくわかります。その結果、当該組織や団体の維持ないしは発展を期して、そのようなときに異例ともいえる——

さて、「余人をもつて代え難い」——組織や団体の運営にかかわっている

と、そんなフレーズをししばしば耳にし、口にもします。役員等の重任を決めたところ安定志向の急場しのぎでしかなく、むしろこれにともなって、前例踏襲に陥りがちとなり、激動する社会にあつては必須とされるイノベーションが期待し難くなります。また、当の人物がそのポストにいわば居座り、居残ることによって後進が育ちにくく、人事の停滞を招くことにもなりかねません。

そうした事情が認識されてのことでしょう、法人であればほぼどこでも、一定の年限をもつて退任する——さらには、たとえ改選が認められるとしてもそれを一定の回数にとどめる任期制、一定の年齢をもつて完全にリタイアすることを前提にした定年制などが設け

られるところとなっています。本題からはいくらか逸れますが、とりわけ政治の世界にあつてはそのような制度が欠かせないはずで

す。政治権力の掌握が長期に及べば及ぶほど、それによつてもたらされる弊害は絶大なものになるからです。「絶対的な権力は絶対的に腐敗する」という箴言は、けだし名言です。

この点で、私どものごとき同窓会組織の場合はどうでしょうか。さすがに権力的支配の要素は乏しく、また、その組織の性格や運営の実際からして、そのような制度のどれをどこまで導入すべきか、見解はわかれそうです。さまざまな立場や意識、年代の同窓生によつて任意に設立され、あくまでもボランティアによつて運営されることになる以上、余人をもつて代え難いという存在に頼らざるをえない現実があるからです。それでも、先に述べたようなネガティブな一面を考慮すれば、それなりの対応が図られて然るべきかと

思います。

たとえば本会についていえば、会則上、役員および期代表幹事は3年間、顧問は6年間の任期制が採用されているものの、いずれについても改選数の制限は定められていません。その趣旨とするところは、何よりも上述のような現実を照らしていたのかもしれないし、当該規定の良識的な運用に信頼を寄せ、敢えて明記するまでもないと考えられていたのかもしれない。

いずれにせよ、本会を構成する卒業期が大幅に増え、その一方で、若い卒業期の参加者が伸び悩んでいる現況を踏まえれば、改めて組織編成のあり方について見直す時期を迎えているようにも思います。本会がより魅力ある存在として永続していくために何が必要か、本会の会員の一人として、衆知を結集して検討することができればと切に念じています。

ワクワク 第64回総会

関東同窓会は2025年6月28日(土)、東京都千代田区一ツ橋の如水会館で第64回総会を開催した。昨年と同様に講演会、総会、アトラクション、懇親会(立食形

式)の構成で行った。実行委員長は77期の丸山剛生さん、出席者は185名だった。ご来賓として母校より宮下美和校長(84期)、田村哲子先生(78

期、同窓会担当、同窓会本部より金子元昭理事長(68期)、増島良介副理事長(75期)、山越雅明副理事長(76期)、関勇治理事(77期)、倉沢一彦理事(82期)、関西同窓会より荻原靖会長(74期)、中南信支部から小池健一支部長(67期)にご参列いただいた。

★第1部 講演会

定刻の12時に司会の片岡拓雄さん(77期)の紹介で講師の中村幸夫さん(77期) 臨床医、理研名誉研究員)が登壇、「細胞培養の歴史と医学医療への貢献」の演題で講演が行われた。iPS細胞や細



アトラクションのJ-POP 演奏



講演に聴き入る

10分間の休憩を挟んで、同じく片岡拓雄さん(77期)の司会で、総会が開会した。矢島基美会長(72期)の挨拶に続いて、ご来賓のご紹介を行い、同窓会本部の金子理事長からご挨拶をいただいた。会則に基づき押金勉さん(77期)が議長に選出され、議事が進行した。第1号議案「2024年度会務報告」、第2号議案「2024年度決算報告」、第3号議案「2024

胞培養の歴史、細胞培養技術がどのような基礎研究や医学医療分野に貢献しているのかを述べられた。細胞培養はよく耳にする言葉であるが、それはどのようなものかを具体的に分かりやすい資料を用いて説明され、医学における重要性を理解した講演であった。

★第2部 総会



懇親会で

副実行委員長の井出智さん(82期)の司会により、音楽プロデューサー・ギタリストの須藤英樹さん(77期)の「J-POP演奏会」が開幕した。須藤さんは松尾祭のスーパースター、大学在学中からライブ活動を続け、その後はプレイヤーだけではなく、作曲家、音

★第3部 アトラクション「J-POP演奏会」

年度監査報告、第4号議案「2025年度会務計画」、第5号議案「2025年度予算」、第6号議案「幹事長の選出」、第7号議案「顧問の委嘱」の議案を審議、採決を行い全議案が承認され、総会は滞りなく終了した。

懇親会の司会は同じく井出智さん(82期)。実行委員長の丸山さんの開会の辞に続いて宮下校長よりご挨拶をいただいた。関西同窓会の荻原さんからご挨拶と乾杯のご発声があり、昨年と同様に宮原武志さん(76期)醸造のあだちビールで乾杯、立食形式の懇親会が始まった。期ごとに設定されたテーブルには上田から取り寄せた信州銘醸の日本酒「鼎」が置かれ、ドリンクカウンターには中村和久さん(75期)提供の珍しい焼酎が用意され、参加者は美味しいお酒と料理を存分に楽しみ、和やかな歓談の時間が流れた。宴もたけなわ、草間和幸さん(77期)の音頭

★第4部 懇親会

楽学校講師等とさまざまなエリアで活躍されている。ギター片手に登場し、ビートルズのブラックパードがいつの間にか上田高等学校校歌に変調して懇親会に備えた校歌の練習会が始まった。小諸市在住の歌姫、天音ともさんがコラボして、懐かしのピンキーとキラーズ「恋の季節」、みんな大好き天地真理「ひとりじゃないの」、演歌の大神所石川さゆり「天城越え」等の77期が青春時代のヒット曲オンパレード。須藤さんの超絶ギターテクニクと楽しいおしゃべり、天音さんの美しい歌声に会場は大いに沸き、盛り上がった。



中村幸夫さんの講演



総会での議決

で、校歌大合唱が行われ、会場は大いに盛り上がった。終了時間も近づき、来年度の総会実行委員を代表して渡邊博さん(78期)の来年度総会成功への決意表明があり、井出さんの閉会の辞により、第64回総会が大盛況のうちに無事終了した。

アクト法律事務所

〒107-0052
東京都港区赤坂3丁目9番18号
赤坂見附 KITAYAMA ビル3階
TEL: 03-5570-5671 (代表)
FAX: 03-5570-5674
【最寄りの交通機関】
地下鉄銀座線・丸ノ内線 赤坂見附駅下車徒歩1分

弁護士(所長)	岩井 重一(62期)
弁護士	安田 隆彦
弁護士	平澤 慎一
弁護士	波戸岡 光太
社会保険労務士	岩井 信也